

Bチャレ チャレンジ部門 実績報告書

団体名	一般社団法人マツリズム	作成日	10月 22日
企画名	夏の自由研究“お祭りをつくろう”ワークショップ		
あなたが考える 文京区の課題	<p>東京大学をはじめとした教育・研究機関が集積する文京区は、「教育のまち」というブランドもあり、高い教育水準を求める世帯が数多く居住しています。一方で、長期の物価高騰も相まって、そうした家庭の多くは共働きとなっています。特に夏休みに入ると、午前中は一人で家で過ごし、午後の居場所であるはずの学童保育にもうまく馴染めず、結果として家に終日こもりっきりになってしまう児童が増加している現状があります。また、子ども同士で安全に遊べる場所も少なく、親子に閉じたコミュニケーションも多く見られます。</p> <p>こうした現象は、当団体が拠点を置く根津・千駄木でも顕著に見られています。地域や大人との接点が減っていくことで、街で大人に声をかけられても戸惑ってしまう、警戒してしまう児童も見られます。本人の社会化・発達が難しくなってしまっただけでなく、地域への愛着も持ちづらくなってしまっということが危惧されます。</p> <p>【企画内容】 上記の課題認識に基づき、子ども達の自己肯定感や協調性を育むことを目的に、「お祭りづくりの探究」をテーマとした連続ワークショップを企画・実施します。</p> <p>■ テーマ設定の理由 お祭りは、地域と”共に楽しむ場”であり、その共通体験を通じて一体感や達成感を味わうことができ、自己肯定感の醸成につながることを期待されます。</p> <p>また、このプログラムを地域の方々に見てもらうほか、このプログラム終了後は、清水荘が企画する各種地域交流プログラムへの動線等を想定しています。街の顔見知りが増え、街のイベントに参加するハードルを下げることで、子ども達の日常生活にあたたかなつながりをもたらすことが期待できます。</p>		
実施期間	8月13.14.15日	実施場所	清水荘（文京区千駄木2-10-17）
対象者	<p>根津・千駄木エリアに暮らす未就学児（5歳）から小学生までの子どもたち。</p> <p>特に、夏休み期間中に安心して過ごせる居場所を求める子どもや、学童保育に馴染みづらい子どもを中心に、地域との交流を深めたいと考える家庭を想定しています。</p>		
参加者の募集方法	<p>(情報媒体名・掲載頻度・掲載場所等、対象者に届けるために工夫したことを記入してください)</p> <p>●イベント告知&申込サイトを作成（peatix） https://matsuridejiyukenyu.peatix.com/</p> <p>●告知のためのチラシを作成</p> <p>告知方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メールやメッセージで参加を促す、紹介依頼をする。チラシを直接渡す。 ・SNS発信（マツリズムHP、X、facebook、instagram、その他個人SNSでの発信） ・チラシの掲示 <ul style="list-style-type: none"> - 清水荘掲示板、千駄木二丁目町会掲示板 ・チラシデータ及びpeatixサイトの発信 <ul style="list-style-type: none"> - 汐見小PTALINE、汐見地域活動LINE、文京区子育てオープンチャット、フミコムメルマガ、千駄木二丁目町会LINE <p>また、8月14日の祭本番に向けても同様にチラシを作成し、主に千駄木二丁目の方々向けに案内をした</p>		

実施した事業内容	<p>(事業実施までに行った準備や、実際にどのようなことを行ったのかを、時期、相手、場所などを明確に記載してください。企画に参加者がいた場合には、その数もご記入ください)</p> <p>7月中旬～ コンテンツ計画 清水荘に企画案提出、日程を抑える 協力者打診(当日スタッフ、カメラマン、動画撮影者など) チラシ作成・peatix申込ページ作成</p> <p>8月上旬 町会へ挨拶まわり・掲示板にチラシ掲載 汐見小PTA・地域活動センターなど告知協力者の巻き込みと情報発信 告知・SNSによる情報発信 当日必要備品の洗い出しと購入 コンテンツの最終確認</p> <p>内部打合わせ回数 計7回(清水荘、西日暮里、オンライン)</p> <p>8月13日～15日 「ぼくらの祭りをつくろうワークショップ」企画実施</p> <p>-8月13日(水) 13:00～16:00 -8月14日(木) 10:00～16:00 -8月15日(金) 13:00～16:00 それぞれ午前中及び終了後に事前準備や振り返り等を実施した</p> <p>場所:清水荘(103、はなれ1F、2F) 参人数:10名(満員御礼) 5歳男児、5歳男児、5歳女児、小1男児、小2男児、小2女児、小3男児、小4男児、小4女児、小6男児 ※未就学児を中心に、保護者をが4名--5名ほど見守り見学</p> <p>当日の様子はgoogle photo上に格納しています</p> <p>メディア・取材など - BS朝日「バトンタッチ」10月11日放映済 - ローカルメディア「まちまち眼鏡店」</p> <p>プログラム内容: 1日目:祭りを学び、企画する 全国の祭りを例にあげ、祭りの意味や必要な要素を学ぶ 根津千駄木エリアのまちのことを知る 自分たちオリジナルの祭りのコンセプト・内容を考える 決まった内容をチラシにまとめて告知</p>
----------	--

	<p>2日目：祭りの準備と開催「ごちゃませ祭り」 AM：祭り開催にあたっての段取りを考え、準備作業を行う PM：オリジナルの祭りを開催し、来てもらった地域の方々との交流 自作の神輿を担ぎ、法被を着て町内を練り歩く 来場者からは感想をもらう</p> <p>3日目：振り返りとまとめ 2日間の写真や動画を見ながら活動を振り返る 自分の役割や工夫、うまくできたことやできなかったこと、喜びなどを共有 模造紙やワークシートを使って整理をし、自由研究を完成させる 絵や紙芝居でまとめるなど多様な表現方法でアウトプット 終了後は、清水荘の大人たちが企画する流しそうめん大会に参加し、地域の方との交流を深めた</p>																									
事業実施に当たって実際に協力のあった団体・個人	<p>企画/当日スタッフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 杉山愛弓（公認心理師、ワークショップデザイナー） ・ 山本大輔（映像クリエイター） ・ 采奈菜子、荻谷ゆか、杉山凌太（ボランティアスタッフ） <p>企画協力/広報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清水荘、（オーナー清水さん、土井さん、三浦さん、佐藤さん） ・ 千駄木二丁目町会 ・ 汐見小学校PTA、汐見地域活動センター 																									
収入内訳 《結果》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>金額</th> <th>備考 (件数、単価などを詳しく記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bチャレ助成金</td> <td>¥200,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ワークショップ 参加費</td> <td>¥30,000</td> <td>参加費3000円×10名</td> </tr> <tr> <td>団体自己資金</td> <td>¥7,808</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)	Bチャレ助成金	¥200,000		ワークショップ 参加費	¥30,000	参加費3000円×10名	団体自己資金	¥7,808														
品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)																								
Bチャレ助成金	¥200,000																									
ワークショップ 参加費	¥30,000	参加費3000円×10名																								
団体自己資金	¥7,808																									
支出内訳 《結果》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品目</th> <th>金額</th> <th>備考 (件数、単価などを詳しく記載)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>チラシ制作費</td> <td>¥1,078</td> <td>@98円（+税）×100部</td> </tr> <tr> <td>祭り道具材料費</td> <td>¥42,616</td> <td>ワークショップ消耗品・材料費</td> </tr> <tr> <td>自由研究の材料費</td> <td>¥12,114</td> <td>文具等</td> </tr> <tr> <td>写真・映像制作費</td> <td>¥80,000</td> <td>カメラマン人件費、撮影機材費、編集費</td> </tr> <tr> <td>講師代</td> <td>¥60,000</td> <td>20,000円/日×3日</td> </tr> <tr> <td>会場代</td> <td>¥42,000</td> <td>清水荘内の会場貸切料 1日14,000円×3日</td> </tr> <tr> <td>小計</td> <td>¥237,808</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)	チラシ制作費	¥1,078	@98円（+税）×100部	祭り道具材料費	¥42,616	ワークショップ消耗品・材料費	自由研究の材料費	¥12,114	文具等	写真・映像制作費	¥80,000	カメラマン人件費、撮影機材費、編集費	講師代	¥60,000	20,000円/日×3日	会場代	¥42,000	清水荘内の会場貸切料 1日14,000円×3日	小計	¥237,808		
品目	金額	備考 (件数、単価などを詳しく記載)																								
チラシ制作費	¥1,078	@98円（+税）×100部																								
祭り道具材料費	¥42,616	ワークショップ消耗品・材料費																								
自由研究の材料費	¥12,114	文具等																								
写真・映像制作費	¥80,000	カメラマン人件費、撮影機材費、編集費																								
講師代	¥60,000	20,000円/日×3日																								
会場代	¥42,000	清水荘内の会場貸切料 1日14,000円×3日																								
小計	¥237,808																									
助成交付額/支出総額	200,000円 / 237,808円																									

企画の成果	<p>1.当初想定していた成果に対して、達成度合いは10点満点中、何点ですか。その理由も含めて記載してください</p> <p>以下それぞれの項目に対する点数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりができたという感覚はあったか 7点 ・自分の考えを形にする経験を得られたか 9点 ・祭りや伝統文化にや親しみを感じたか 9点 ・祭りづくりを通じて一体感や達成感を味わえたか 10点 <p>【地域への還元やつながり強化のための工夫】に対する振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当日の流しそうめんには参加者全員が参加した ・清水荘のメンバーは14日のお祭り当日、15日の流しそうめんイベントにも参加。 <ul style="list-style-type: none"> ・3日目の振り返りの際には、オーナーの清水さんから企画に対するコメントをいただき、今後の清水荘でのイベントを案内してもらった。 (10月ハロウィン、12月餅つき大会、2月豆まき大会など) ・千駄木二丁目町会の方には14日のお祭り当日に来ていただいた ・保護者の方には、9月の根津神社例大祭の案内、及び清水荘でのラーメンイベントについてメールで案内を行い、根津神社例大祭には、子どもたち3名と保護者が子ども神輿・子ども山車に参加した ・清水荘にも、本企画参加者が何名か来訪したとの報告も受けた。 <p>・これらの企画に携わる大人たちには、子どもたちの自由な発想と主体的に動く姿にふれ、地域で企画するイベントのあり方の再考・フィードバックの機会としていく。今後の地域文化を担う人材の育成方法に関して、アイデアを持ち帰ってもらう。さらに、学校単位など既存の枠を超えた人同士でのつながりを深めることで、まちを楽しむ人を増やし、安心安全の町づくりのための主体性の喚起などに繋げていく。</p> <p>→ここまでは、正直踏み込めなかった。複数回開催することでこれらを強めていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが作成した自由研究や祭りの写真・記録を、清水荘や町会掲示板などに掲示し、地域の方々にも活動を報告する →マツリズムSNS・HPにて報告掲載済。 <ul style="list-style-type: none"> ・映像記録は短編ダイジェストに編集し、SNSやマツリズムHPで配信。地域外への発信も行い、企画の意義や成果を伝える →編集集中。完了後にマツリズムHP・SNSにて掲載・報告会にて上映予定。 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の継続や拡大に向けて、参加者アンケート結果や振り返りを行い、地域団体や関係機関にフィードバックしプログラム内容を更にブラッシュアップしていく →保護者アンケート集計(結果は別紙参照)、清水荘オーナーへ共有済。今後は地域との連携を強めていく。
	<p>2.企画を行なってみて気付いたこと、改めて確認できたことを記入してください(箇条書でも可)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3日間を通して、子どもたちの仲が深まった。 ・参加者一人一人の活躍の場面が生まれた。 ・祭りづくり祭りの一体感・達成感を提供できた。 ・夏休みのお盆開催で集客には苦労するかと思っていたが、需要があった。 ・兄弟での参加希望者が多かったが、未就学児の参加率が高かった。 ・自主性を育むプログラムへの関心が高く、保護者も協力的であった。 (自宅でも作業をしてくるなど意欲的であった)

3.本企画の開始時に設定した課題は、実際に“文京区の課題”だったことが確認できましたか
本企画を通してどのように検証を行ったかを記載してください

(分析や考察など)

本企画では課題として以下を設定していた

・夏休みに入ると以下の問題が顕著化：

・午前中は子どもが一人で家にいる時間が長く、学童保育にうまく馴染めない子どもも多く、結果として終日家にこもるケースが増加。

・子ども同士で安全に遊べる場所が少ない。

・親子間に閉じたコミュニケーションが多く、地域や大人との接点が減少。

・その結果、社会化・発達が難しくなり、地域への愛着形成も阻害される危険がある。

分析と考察

・夏休みの非日常体験への期待、自主性を育む内容への需要は高かった。地域とのつながりや他者との繋がり希薄さから、時間の取れる夏休みにそうした体験をさせたいと思う保護者が多いことがわかった。一方で当初設定した、「学童に馴染めず家にこもっている児童」が参加していたかどうかはわからなかった

・「親子間に閉じたコミュニケーションが多く、地域や大人との接点が減少」これについては、ワークショップを通じて強く実感した課題であった。祭りづくりのプロセスを通して、子どもたちの生き生きとした表情やすすんで行動する姿に驚き、家庭や学校で見せる姿と違う一面を見て喜ぶ保護者がいたことや保護者の会話からも見て取ることができた。(親が子供と過ごしているようで、子どものことをきちんとみていない。という可能性もあるのでは?とも感じた)

・参加した子どもたちも、三日目の振り返りの場面では「祭りは参加するだけよりも、自分たちで作る方が面白かった」「大人も子どもも楽しめた」と、一体感や達成感を口にしており企画のテーマ設定は合っていたように思う(別添アンケート結果についても参照)

4. 本企画を経て、今後の団体の活動の展望についてご記入ください

本企画を通じ、「子どもたちが協働してオリジナルの祭をつくりあげる体験」と「地域」を接続することで、子どもたちの成長や人的ネットワークの広がりのみならず、地域での居場所づくりや地域の伝統芸能の担い手づくりにも寄与することがわかった。

とても意義がある活動ということがわかった一方で、期間、やり方、年齢設定などは改善の余地があったため、本企画をモデルとして地域の他施設でも応用可能な教育プログラムモデルへと昇華させ、来年度以降への活動へと繋げていきたい。

※追加別添1：この事業を通じて制作したチラシなどのデータ

※追加別添2：この事業の様子が分かる公開可能な写真データ(10枚以内)

※追加別添3：この事業にかかった費用の根拠資料の原本(領収書や支払い明細書など)

子どもたちが考えた 「祭り」を楽しもう!

8月14日(木)

14:00~15:30

場所: 清水荘 はなれ

文京区千駄木2-10-17



どんなお祭りになるかは
お楽しみに!

(大人も子どもも) 誰でも参加OK!

申込不要 / 入場無料

入退場自由

冷房あります

8/13-15の3日間のワークショップで、
5歳~小学生の10名が
「オリジナルの祭りづくり」に挑戦中。



8月14日はお披露目の場。
子どもたちへのエールも込めて、
地域の皆さんにお越しいただけると嬉しいです!

3日間のワークショップの詳細はこちら →→→

主催
一般社団法人マツリズム

協力: 清水荘、千駄木二丁目西町会
助成: 文京区社会福祉協議会「Bチャレ」



ドキドキ
わくわく

夏の自由研究

ぼくらの

「祭り」をつくらう!



日本全国で行われる伝統的な祭りをヒントに、
自分たちで作るオリジナルの「祭り」を企画します!
みんなでアイデアを出し合い、話し合っ、形にして。
地域の人ともつながりながら、祭りの楽しさを味わおう!
3日間の体験を自由研究としてまとめるよ!



日程 三日連続講座

8月13日 (水) 13:00~16:00

8月14日 (木) 10:00~16:00

8月15日 (金) 13:00~16:00

★14日はお弁当持参

★15日終了後に、清水荘で流しそうめん企画あり

場所: 清水荘
SHIMIZU-SO

文京区千駄木2-10-17

対象: 未就学児(5歳)~小学生

定員: 10名(先着順)

参加費: 3,000円

プログラム内容

DAY1「祭り」を知って、考える

- 全国の祭りや文京区の祭りを知る
- 自分たちの祭りの「コンセプト」を考える

DAY2「祭り」を準備する、ひらく!

- 午前: 祭りの準備
- 午後: 清水荘や地域の人を招いて祭りを開催!
みんなで楽しもう!

DAY3 振り返って、まとめよう

- 活動を振り返って、ワークシートにまとめる
- 自由研究の完成!

講師

おまつり先生
大原 学

一般社団法人マツリズム代表。
全国各地の祭りに参加し、子どもたちに祭りの
「楽しさと本質」を伝える活動を展開。
5歳の娘のパパ。

ワークショップデザイナー
杉山 愛弓

小学校での探究学習や、おまつり
先生のアシスタントを実践。
子育てをしながら働き方や地域の
貢献を模索中。公認心理師。

参加申込はQRコードから 8月6日(水)まで ↓

主催・お問い合わせ

一般社団法人マツリズム

✉ info@maturism.com

☎ 050-3559-9193

祭の力がどんどんと元気!

協力: 清水荘、千駄木二丁目西町会

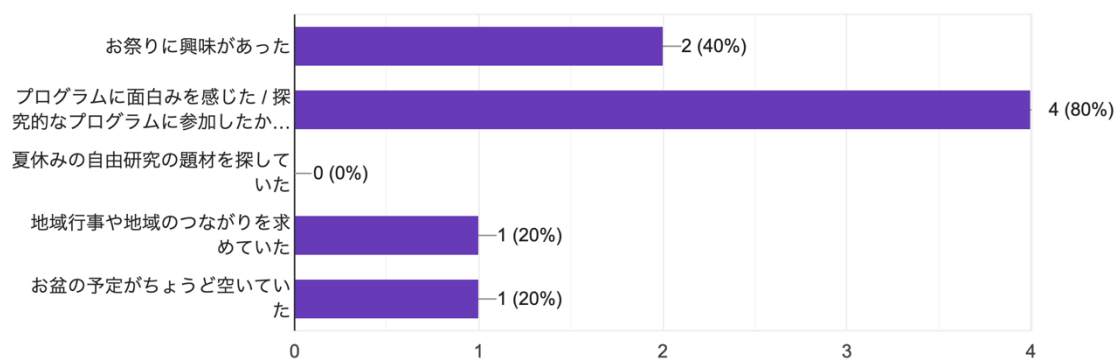
助成: 文京区社会福祉協議会「Bチャレ」



お祭りづくりワークショップアンケート結果（有効回答数 5）

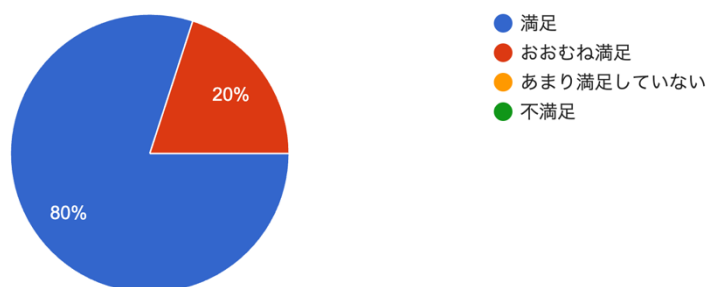
1. 「お祭りづくり」ワークショップに参加しようと思われた理由はなんですか？

5件の回答



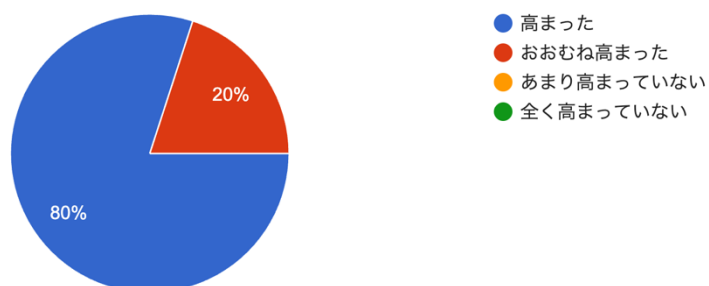
2. ワークショップの満足度はいかがでしたか？

5件の回答



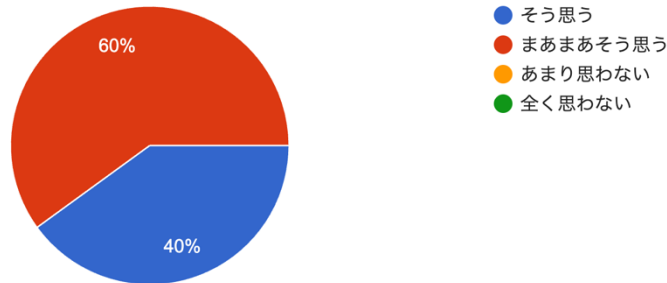
3. ワークショップを通して、お祭りや地域文化に対する関心が高まりましたか？

5件の回答



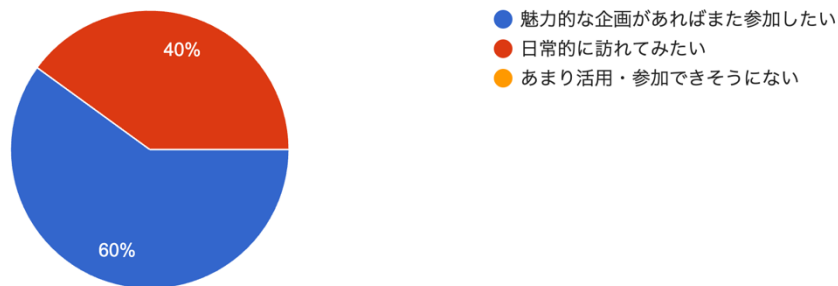
4.ワークショップを通して、地域とのつながりを持ってみたい/深めたいと思われましたか？

5件の回答



5.ワークショップ開催場所、「清水荘」を今後も利用してみたいと思われますか？

5件の回答



6.ワークショップに参加されたご感想を自由にお聞かせください。

5件の回答

お祭りの学びになった。学校でもお祭りを作るイベントがあって企画や運営をしたけど、今回はそれよりも何もないところから作り上げるところが、良かった。(学校はPTAがいろいろやっていたから)

親が思っていた以上に参加した子供は喜んで全国のお祭りに興味を持つようになった。

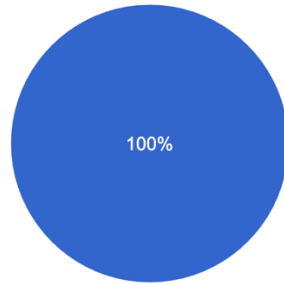
色々な年代の子たちと協働できて良かった。屋台では自分たちのやりたいもの盛り沢山で楽しかった。

引っ込み思案な娘が頑張っていて、とても成長を感じました。

自分たちでお祭りを作ることにうわーって興奮した。お化け屋敷を作ったのが楽しかった。流しそうめんが最高だった！

7.今後もマツリズムの企画やイベントに興味はありますか？

5件の回答



- 興味があるのでイベントがある場合は案内を送ってほしい
- 興味はないので連絡は不要

8.今後、どんな企画があると良いでしょうか？

3件の回答

お化け屋敷をもっと本格的にやってみたい

絵の描きかた、みかた

盆踊り、餅つき大会、クリスマス

9.その他・メッセージなど

1件の回答

ほんとに楽しかったです。3日間ありがとうございました。





ちやませ





貸しスペース『清水荘 はなれ』
9:00~19:00
1F/2F 各1時間あたり 2,500円(税抜)

1F	予約済み
2F	予約済み

※このスペースは、子ども食堂の運営のために貸し出すスペースです。
※予約は、清水荘 事務局までお願いします。

マイクラで
デジタル神輿をつくらう！
デジタル神輿をつくらう！
デジタル神輿をつくらう！
デジタル神輿をつくらう！

開催日	8月22日(日) 8月24日(日)
開催時間	11時~15時
対象年齢	小学生以上(中学生以上は保護者同伴)
会場	清水荘 2F(20名)
参加費	無料
予約	清水荘 事務局(02-262-1111)
予約締切	8月18日(木) 17:00迄

子どもたちが喜ぶ！
「祭り」をしよう！
8月14日(木)
14:00~15:30

※このイベントは、清水荘 事務局まで予約をお願いします。

夏の自由研究
「祭り」を作ろう！
3日連続開催
8月14日(木) 14:00~15:30
8月15日(金) 14:00~15:30
8月16日(土) 14:00~15:30

※このイベントは、清水荘 事務局まで予約をお願いします。

BASKETBALL
PLAYER
急募。

清水荘 事務局(02-262-1111)

清水荘
SHIMIZU-BO





